

授業科目名・形態	介護の基本Ⅲ	講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	工藤 久	開講期	1年後期	単位数	2

【授業の主題】

介護福祉の基本となる理念や地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う学習とする。これらを踏まえ、本講義では、「介護の基本」として、ICF利用と介護とリハビリテーションの関係について学習する。ICFをより理解するために何回か事例を示し、アセスメントを行い、ケースのシュミレーションをしていただく。リハビリテーションの目的は人間らしく生活できるよう支援することであり、その「全人間的復権」についても深く考察する。

【到達目標】

- 1) ICFの視点に基づくアセスメントを理解し、エンパワメントの観点から、個々の状態に応じた自立を支援するための環境整備や介護予防、リハビリテーション等の意義や方法を理解する。
- 2) ICFの構造を把握し、生活機能と各因子との相互作用について理解する。
- 3) 介護とリハビリテーションの基本的な考え方について理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 介護におけるICFの捉え方（ICFとは）
- 第2回 ICFにみる相互関連性
- 第3回 利用者のもつ「強さ」に着目する
- 第4回 ICFの視点に基づくアセスメント（アセスメントとは）
- 第5回 アセスメントに基づく生活目標の設定
- 第6回 介護とリハビリテーション（リハビリテーションとは何か）
- 第7回 介護実践におけるリハビリテーション
- 第8回 介護予防におけるリハビリテーション
- 第9回 寝たきり高齢者と認知症高齢者の介護とリハビリテーション
- 第10回 日常生活と社会生活の能力の維持・拡大への支援（自立生活と自立支援）
- 第11回 ADLと日常生活自立
- 第12回 自立生活の目標
- 第13回 リハビリテーション専門職との連携（リハビリテーション分野）
- 第14回 チームアプローチによる連携と包括支援
- 第15回 ICF活用による事例検討

【授業実施方法】

講義形式で行う。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】

社会福祉概論、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論、日常生活支援技術

【教科書等】

介護の基本Ⅰ（新・介護福祉士養成講座3 中央法規）

【参考文献】

- ・障害者福祉研究会，編：ICF 国際生活機能分類－国際障害分類改訂版－，中央法規出版

【成績評価方法】

筆記試験 60%、小テスト 30%、平常点 10%により総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

介護とICF、リハビリテーションとの関係を理解してください。予習復習も欠かさずに行ってください。